

国土交通省 地域交通共創モデル実証プロジェクト採択事業

「こどものみらい共創プラットフォーム」 横浜市3区での実証実験概要

2023/09/15

- この度、hab株式会社を幹事企業とする13社(23年8月16日時点)で構成される「こどものみらい共創プラットフォーム」を組成し、「令和5年 地域交通共創モデル実証プロジェクト」に採択されました。
- 本事業では、親御様の習い事送迎負担を公共交通利用により軽減させることで、子育て層の社会進出支援を目指しています。
- また、お子様の移動需要をとらえた公共交通の新しい市場創出を目指しています。
- 一般乗用旅客自動車運送事業の範囲内において事業展開を考えています(時間貸しや相乗り旅客による運送など)。

背景と経緯

23年3月にhab社にて無償の実証実験を実施

横浜市経済局「スタートアップ社会実装推進事業」の支援のもと、横浜市内の子育て層の送迎課題やニーズを把握

● 実施結果

- ・ 走行エリア/対象： 関内駅周辺の習い事に通う小学生
- ・ 期間：2週間
- ・ 総リクエスト数： 横浜市全域で約200件
- ・ 乗車数：14世帯(応募者多数のためモニター選定)

● アンケート調査

- ・ 有償で送迎を解決したい80%
- ・ 本サービスへの平均支出意向4,300円/月
- ・ 送迎を理由に習い事をあきらめたことがある50%
- ・ 送迎を理由に求める働き方をあきらめたことがある50%

● 実証実験ユーザーの声

- ・ 有償継続利用率100%
- ・ 「生活が激変した」「絶対に実現してほしい」「もう手放せない」
- ・ 「いくら払えば来週もやってくれるのか」

本コンソーシアムは、共働き子育て層が抱える「子供の移動対応による様々な社会問題の解決」を目指しています。

＜取り組み課題＞

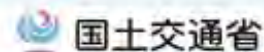
- ①送迎負荷による共働き子育て層の就労機会損失
- ②送迎有無による子供の体験格差拡大
- ③タクシードライバーの高齢化と採用難、職業イメージ低下
- ④丘陵地を背景とした送迎時の車依存とCO2排出
- ⑤自家用車送迎車両 渋滞問題



現行タクシー事業免許を土台とした再現性の高い課題解決策を実証・提示することで、全国の子育て層社会課題解決に迅速に貢献することを目的としています。

地域交通共創モデル実証プロジェクトの概要

「共創モデル実証プロジェクト」(令和5年度)の公募について



地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

1. 共創モデル実証運行事業

< 特設ウェブサイトでは、第1弾(令和4年度事業)の取組み事例を紹介しています >

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)※によりその維持・活性化に取り組む実証事業

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」

【補助対象事業者】

交通事業者等を含む複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等
(「共創プラットフォーム」)

【補助対象経費】

- 事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等
- 事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
- 実証運行に要する経費

【補助率・上限額】

補助対象経費の2/3 (上限1億円)

※実証運行など、交通サービスの運行を伴う事業であることが必要です。

プロジェクトイメージ (他分野共創の例)



2. 人材育成事業

共創の取組の促進・普及に向け、地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業

【補助対象事業者】 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う、交通関係団体、まちづくり団体等の民間事業者、NPO法人等

【補助対象経費】 地域交通分野におけるプロデュース・コーディネート人材育成に関する取組実施経費

【補助率・上限額】 定額 (上限3千万円)

公募期間 令和5年4月21日～6月20日16:00

問合せ先 事務局 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
各地方運輸局交通政策部交通企画課 等

応募方法の詳細・問合せ先は特設ウェブサイトへ！

採択審査のポイント等は「公募要領」をご確認ください。

【URL】 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

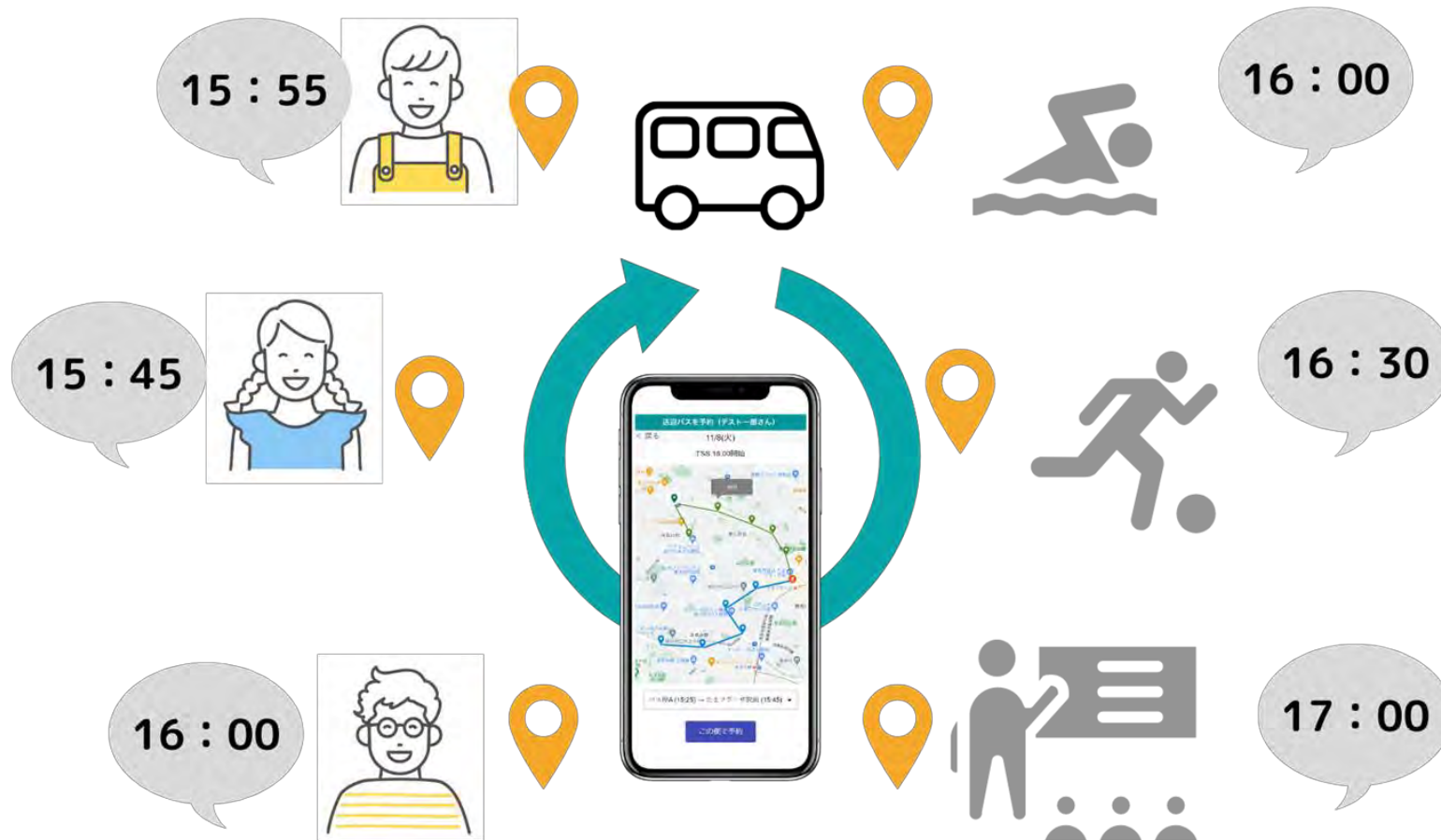
地域交通 共創

検索

「1. 共創モデル実証運行事業」に
採択されました。

実証事業の概要

こどもだけが乗車する「こども相乗りタクシー」の試験走行と、同サービスの決済時に利用できる「デジタルこどもタクシーチケット」の試験導入により、子育て層の送迎負担軽減、経済的負担軽減、親の可処分時間向上、こどもの習い事選択肢の多様化、タクシードライバーの業務効率化、タクシー業界の新収益創出、送迎車両減少によるCO2削減に貢献する。



スマホでお客様の乗降希望を集約してルートを作成



実証事業の概要

- 運行時期： 23年12月上旬～24年2月中旬まで(一部無償運行期間含む)
- 運行時間： 14時～20時 土日祝日も稼働 ※予定
- 対象者： 運行エリアにお住いで、本事業で提携する習い事・医療施設に通う小学生
- 運行エリア： 横浜市内の以下3エリアを予定
 - ①あざみ野駅周辺(青葉区) ②関内駅周辺(中区) ③鶴見駅周辺(鶴見区)
- 使用車両： セレナe-power 各社2台
- 運行事業者： アサヒタクシー株式会社、東宝タクシー株式会社、神奈川都市交通株式会社
- 運行形態： 貸切タクシー運行 ※有償運行の場合は募集型企画旅行による集客／運行を想定
- 乗車料金： 検討中 ※無償運行の可能性もあり
- 最大輸送可能人数： 1日あたり最大輸送可能人員 約450人(3便×5h×5人×2台×3社)
- 乗降場所： タクシー会社、停留所パートナー、ユーザーリクエストを勘案し日別に設定
- 走行ルート： ルーティングシステムが予約に合わせて自動生成

※上記はすべて23年8月21日時点の情報です。変更となる可能性があります。



- 乗降リクエスト(乗降場所、到着希望時刻等)
- 乗降予約/キャンセル(前々日まで。仮想バス停型)
- 家族みんなで見守り機能(お子様の予約・乗降通知等の共有)
- デジタルこどもタクチケの利用
- お子様の乗降通知、タクシー位置情報
- 車内映像(顔はモザイク)
- 提携習い事紹介ページ

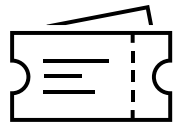
※機能は変更する可能性があります

実証事業の概要 こどもデジタルタクシーチケットのイメージ

特定の乗客に対し、様々な利用設定が可能なタクシーチケットを配布。
本サービスにより習い事事業者は疑似的に自社の送迎シャトルを導入が可能となります。

また、地域企業・団体の広告費／SDG's活動費用を、本サービスに転嫁していただくことも可能とします。

¥ 500



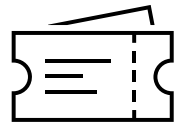
習い事A

¥ 300

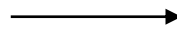


地銀A

¥ 200



メーカーA

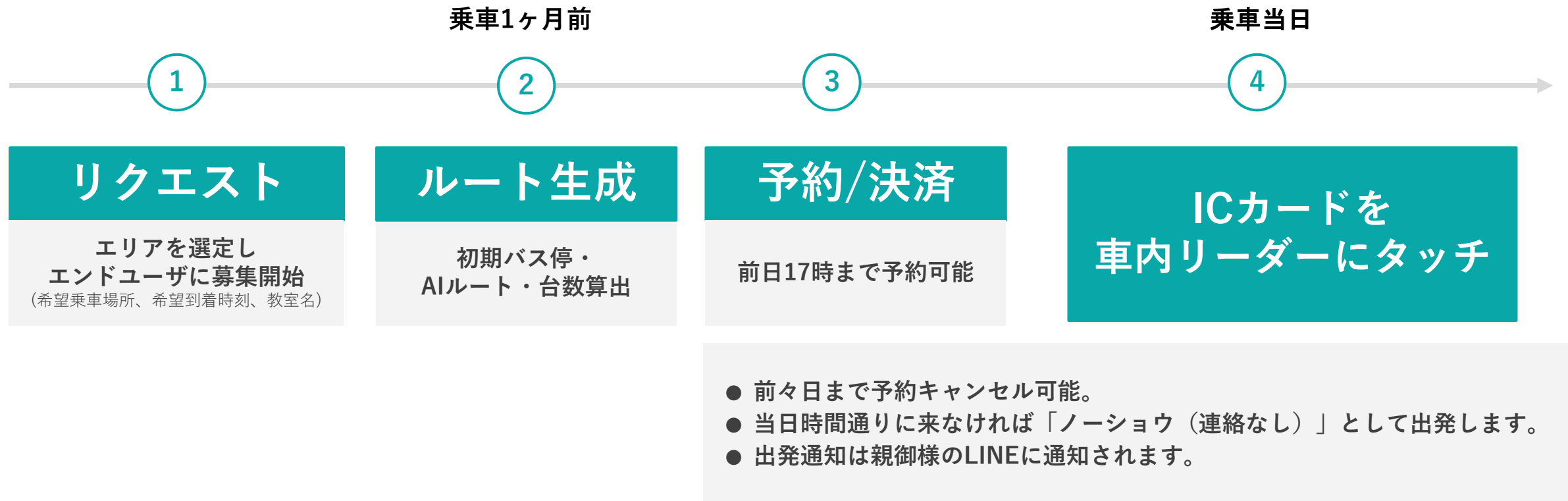


地域の関係者みんなで、地域の子供の移動を支える仕組みづくりを。

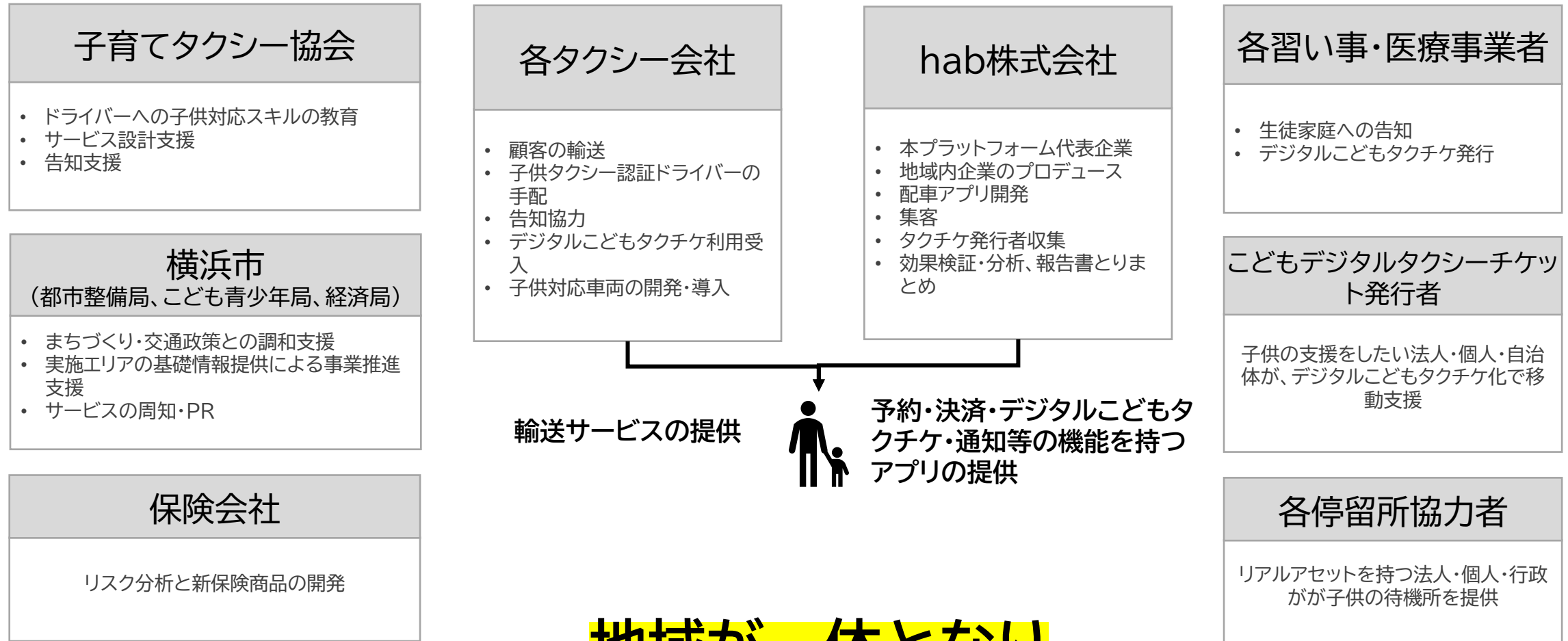


画面はイメージです

実証事業の概要 こどもデジタルタクシーチケットのイメージ



実証事業の概要 各社の役割



**地域が一体となり
安全・安心な子育て層の移動環境を支援**